

令和 8 年度前期

第 1 学年美術科 期末テスト

【注意事項】

- ① 解答用紙は問題用紙に挟んであります。
- ② 「始め」の合図があるまで冊子は開きません。
- ③ 合図があったら、問題用紙・解答用紙の所定の欄に、学年・組・番号・名前を書いてから始めなさい。
- ④ 答えは解答用紙の決められたところに、濃くはっきりと読みやすい字で書きなさい。(読めない場合は×とします。)
- ⑤ 解答は全て、問題で指定された形で正しく書きなさい。
- ⑥ 試験時間は⁴50分間です。「終わり」の合図があるまで見直しを行い、最後まで実技の問題に取り組みなさい。
- ⑦ 試験終了後、問題用紙・解答用紙の両方を提出しなさい。

1 年 ____ 組 ____ 番 名前 _____

■ R 8 前期 第 1 学年美術科 期末テスト【問題】

1 「美術の基礎・基本」に関する問題です。次の問いに答えなさい。【合計 30 点】

(1) ものの形や質感、明暗を観察し、鉛筆などの単色の描画材で正確に描くことを何というでしょう。

カタカナで答えなさい。【知 2 点】

(2) 次の表は、鉛筆に関する記号をまとめたものです。それぞれどんな意味を表しているか、

(A) ~ (D) に当てはまる言葉を、以下の〈選択肢〉より選び記号で答えなさい。

【知各 2 点 計 8 点】

記号	読み方	意味
B	Black (ブラック)	黒い
H	(A)	(B)
F	(C)	(D)

〈選択肢〉 (あ) 硬い (い) Firm (フィルム) (う) 強い (え) Half (ハーフ)
 (お) 黒い (か) 強い (き) Fit (フィット) (く) Hard (ハード)
 (け) しなやかな (こ) 薄い (さ) Habit (ハビット) (し) しっかりした

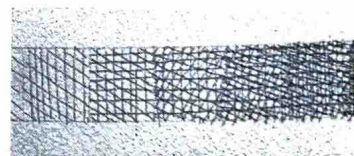
(3) 次の鉛筆を濃度の濃い順(濃い→薄い)に並べ、解答欄に当てはまるように記号で答えなさい。

【知各 1 点 計 6 点】

(あ) H (い) F (う) B (え) 6 B (お) 4 H (か) HB

(4) 右の〈図 1〉のように平行な線を何本も重ねて明暗の段階をつくることを何というでしょう。カタカナで答えなさい。

【知 2 点】



〈図 1〉

(5) 鉛筆でりんごを描くときに意識するポイントとして (A) ~ (F) に当てはまる言葉を、以下の〈選択肢〉より選び記号で答えなさい。【思各 2 点 計 12 点】

鉛筆で描くときのポイントは、描く物をよく観察し、実際の (A) と同じ大きさ、または画面の真ん中にすべてが収まるように描く。りんごの奥行きや立体感を出すために (B) の意識をもって、鉛筆の (C) を残し質感を描く。
 物体の上に当たる (D) と (E) や物体によってできる (F) を意識して描く。

〈選択肢〉 (あ) 角 (い) 影 (う) 水平線 (え) 面 (お) スフマート
 (か) 光 (き) モチーフ (く) タッチ (け) 上 (こ) 斜め
 (さ) 陰 (し) マチエール (す) 遠近 (せ) 大きさ (そ) 下

②「自分だけのシンボルマーク」に関する問題です。次の問いに答えなさい。【合計 34 点】

- (1) はっきりした形の無いものを色や形で表現することを何というでしょう。【知 2 点】
(2) 物事の複雑さを取り除いて簡単に表現することを何というでしょう。【知 2 点】
(3) 授業中に「自分だけのシンボルマーク」を制作する際に使用した絵の具の名前を何というでしょう。カタカナで答えなさい。【知 2 点】
(4) 次の文は (3) の絵の具の説明です。(A) ~ (C) に当てはまる言葉をそれぞれ自分の言葉で書き入れなさい。【知各 2 点 計 6 点】

一定の面積を (A) なく塗るのに適している (B) の良い (C) 絵の具

- (5) 絵の具を扱う際には、「混色」、「重色」と呼ばれる技法があります。以下の文章は、それぞれの技法について説明したものです。(A) ~ (F) に当てはまる言葉を書き入れなさい。
【思各 2 点 計 12 点】

「混色」 … (A) の上で絵の具を (B) ること
ただし、多くの種類の絵の具を (B) 過ぎると色が (C)

「重色」 … (D) の上で絵の具を (E) ること
ただし、先に塗った色が (F) から (E) ないと色がにじむ。

- (6) 以下の文章は、(3) の絵の具を用いて囲まれた枠の中を美しく塗る際の手順を説明したものです。正しい手順になるように並び替え、解答欄に当てはまる形で記号を書き入れなさい。
【思完答のみ 5 点 (完答とは並びが全て一致して 5 点)】

(オ) 枠の中を一方方向に敷き詰めるように塗る (エ) 塗りたい枠の内側を囲うように塗る
(ウ) 水分量を調節して絵の具をソース状にする (ア) 繰り返し筆の方向を変えながら塗りつぶす
(イ) パレットの端で絵の具を落とし、筆に含ませる絵の具の量を調節する

- (7) 次の文はマインドマップの説明です。() に当てはまる言葉を、(A) ~ (E) は下の〈選択肢〉より選び記号で答えなさい。

【思各 1 点 計 5 点】

自分の (A) を目で見えるように書き出し、自分自身の頭の中を整理する。
また、(B) を制作するうえで (C) を選び (D) を描き始める前に、
新しい (E) が欲しいときや、(A) をまとめたいとき決るときに役立。

〈選択肢〉	(あ) 設定	(い) 関係性	(う) 発想	(え) 基礎	(お) 考え
	(か) 印象	(き) 作品	(く) テーマ	(け) 雰囲気	(こ) 感覚
	(さ) 経験	(し) 整理	(す) アイデアスケッチ	(せ) 抽象	(そ) 写実

3 「レタリング」に関する問題です。次の問いに答えなさい。【合計 16 点】

- (1) 次の文章は「レタリング」について説明したものです。(A) ~ (E) に当てはまる言葉を以下の〈選択肢〉の中から選び記号で答えなさい。【思 各 1 点 計 5 点】

文字は (A) を伝えるための大切な記号です。レタリングとは、(B)、(C) やすい文字を (D) することをいいます。生活にありふれているポスターや広告、看板では、意図に応じて (E) を選び、(D) をして (A) を伝えています。

【選択肢】 (あ) 文字 (い) 色彩 (う) 書体(フォント) (え) 面白さ (お) 美しく
(か) 読み (き) デザイン (く) 機能 (け) 質 (こ) 悲しさ
(さ) 校章 (し) 情報 (す) ひらめき (せ) 形 (そ) 効果

- (2) 次の書体名を答えなさい。①は漢字で書きなさい。②はカタカナで書きなさい。

【知 各 2 点計 4 点】

①

永

②

永

- (3) 上の①と②の書体の特徴をそれぞれ1つずつ答えなさい。【知 各 2 点計 4 点】

- (4) 以下の文章は、レタリングを美しく描く際の手順を説明したものです。正しい手順になるように並び替え、解答欄に当てはまる形で記号を書き入れなさい。【思 完答のみ 3 点】

(ア) 輪郭線を清書する (イ) 輪郭線の中を一画ずつ端から塗る
(ウ) 一画ずつ肉づけをする (エ) 骨格をつくる(骨組み) (オ) 墨入れをする(中を塗る)

4 実技の問題です。課題と条件をもとに実技を行いなさい。【合計 知技 20 点】

〈課題〉 利き手でない方の手でつくったピースサインを描きなさい。【知技】

- 〈条件〉
- ・ 手のひら側から描くこと
 - ・ 指から手首までを画面に収めて描くこと(服のそでをまくった状態で)
 - ・ 実物と同じくらいの大きさか、少し大きめで描くこと
 - ・ 鉛筆を用いて描くこと(※絶対にシャーペンは不可)
 - ・ 光や影、立体感、質感などを意識して、時間いっぱいまで取り組むこと

■ R 8 前期 第 1 学年美術科 期末テスト【模範解答】

1 年 組 番 名前

1

(1) (2 点)	デッサン		(2) A (各 2 点)	く	(2) B	あ	(2) C	い	(2) D	し	
(3) (各 1 点)	え → う → か → い → あ → お						(4) (2 点)	ハッチング			
(5) A (各 2 点)	き	(5) B	え	(5) C	く	(5) D ※	か	(5) E ※	さ	(5) F	い

※ (5) の D と E の回答は逆でも可

※ (5) の D と E の回答は逆でも可

合計 30 点

2

2	(1) (2点)	具体化	(2) (2点)	単純化	(3) (2点)	ポスターカラー				
	(4) A (各2点)	むら	(4) B	発色	(4) C	不透明水彩				
	(5) A (各2点)	パレット	(6) B	混ぜ	(6) C	にごる				
	(5) D	紙	(5) E	重ね	(5) F	乾いて				
	(6) (完答5点)	ウ→イ→エ→オ→ア								
	(7) A (各1点)	お	(7) B	き	(7) C	く	(7) D	す	(7) E	う

合計 34 点

3

(1) A (各 1 点)	し	(1) B	お	(1) C	か	(1) D	き	(1) E	う
(2) ① (各 2 点)	明朝体	(2) ②	ゴシック体	(3) ① (各 2 点)	書体の特徴① 例) 横画が細い。縦画が太い。ウロコがある。				
(3) ②	書体の特徴② 例) 横画と縦画がほぼ同じ太さ。			(4) (完答 3 点)	エ → ウ → ア → イ → オ				

合計 16 点



実 技 問 題 (各観点 4 段階評価)			筆 記 問 題	
形・大きさ	実物と比べた大きさ、バランス、指の生え方、曲がり方など (/5)		知識・技能	思考・判断
光・陰	光の当たり方による陰の濃度の変化、陰のでき方など (/5)		/58	/42
面・立体感・質感	丸み、膨らみ、部位による質感の違い、鉛筆の動かし方など (/5)			
細かな表現	爪、しわ、関節などへの意識や、細かな描き込みなど (/5)		合 計 得 点	
条件違反 (減点)	課題に沿っていない・鉛筆を使っていない	実技合計得点	/ 100	
	手のひら側から描けていない	/20		
	袖をまくった状態で手首まで入っていない			